中学生の見た県税

県では昨年の十一月二十六日から十二月二十五日まで、税に対する正しい知識と理解を得るために、「納税で郷土を発展する運動」を行ないました。その運動の一つとして、県税について県内の中学生から作文、ポスターなどの作品を募集しましたところ、二百七点の応募がありました。

そのうちの一つをご紹介しましょう。

私の見た納税の役割

本渡市立佐伊津中学校
三年　明瀬律子

畑から帰つて来た母が、畳の上の郵便物に目をとめた。上り段に腰をおろしたまま、静かに、頭の手ぬぐいを外し、封を切る。夕暮のうす暗い家の中で、じつとよみ続ける視線は、一日中働いてきた人のものとは思えぬほど鋭い。くらしの楽でない私一家の生計にひびく税金の通知状だからである。息をつめるようにして、読みつづける母ではあるが、頭の中では、祖父母をはじめ八人の生活費、子供四人の学校の費用、その他の出費が概算ながら計算されている事が、私には、よくわかるのだ。私一家は、佐伊津町の南端・明瀬部落に住んでいる。海岸ぞいであるため、激しく吹きつける潮風に、土地はやせ、ここに七反ちかくの農作物をつくつて、暮らしをたてているが、収入は少い。今では祖未ながら、雨風、寒さはしのげる、家を建て、今日の食生活に困ることもない。来春は、私も高校進学を希望しているが、決して楽な考えからではない。現在の私の生活に、ぜいたくは許されないのである。時々本渡に行つたおり、店先に並んだたくさんの品々を見て、母にねだつてみようかなと思うこともある。しかし、そのたびに、雨風の日を除いては、一日中畑で働く母の姿が目に浮かんでくるのだ。太陽の鋭い光もやわらぎ、やがて向うの土手のかげにすつかりかくれ、あたりも暗くなつたころ、私の夕食の支度が終る。それから、家族八人が膝につく。母がやつと笑顔をみせて、膝の上に並べられた私の手料理をみわたしながら、「だんだん料理が上手になりよるね」といつてくれた。そしてつづけて、「こうして、みんな揃つて健康でお前たちがすくすくとそだつてくれるのが、一番の財産ばい、さあいただこう。」といい後は口ごもるように、「私わにやならんもんは、ちやんと払うとるけんちつとも心配はいらん。人間はね、せねばならん事はせずにいて、口先ばかりしやべるもんが一番つまらんとばい。」といつた。さつき、税務署からの通知で、私たちが気使つているのではなかろうかと心配して私たちの心をやわらげるため、教訓をあたえたのだろう。

私は学校で、社会科の時間に、権利と義務について、教わつた事がある。現在は、自分の義務を果たそうともしないで、権利だけを主張しようとする者が多いが、これは民主主義のはきちがいである。まずせねばならぬことは、きちんと果たさねばならぬ、ということを教わつた。母には、権利とか義務とかいうむずかしい言葉はわからなくとも、私以上の現実的な考えを、畑の土から、自らの体で学んできているのだろう。日頃、不要な事は何一つ口に出さず、部落の労力奉仕でも、学校、消防団、婦人会の寄付も気持よく出している。だが、いわねばならぬ事は、どこでも、また、だれの前でも、然も女らしい慎しさ失わず、堂々と自分の意見を述べる母を私は心から尊敬している。

日本中の農業、漁業、商業、会社員の人たちが、その人の収入に応じて課せられた税金であつても、中には、母以上の苦しい思いをして税金を納め、こうして県も国も運営され、私たちは、こうして、平おんな今日の生活をおくつている。台風などで道路がこわされると、その修繕代にあてられ、私たちが毎日、楽しく勉強している学校も経営されまた、オリンピック大会も行われ、夢のような新幹線鉄道もつくられた。このようにして、私たち、日本国民の自らの手によつて、私たちの生活の上に一つ一つ幸福がつみ重ねられてゆく。私は時々、県や国を一つの大きな船に例えて考えてみることがある。熊本県を「熊本丸」あるいは「肥後丸」と名づけてもよい。船長さんは、県知事さんで、乗組員は、県民百八十万。それぞれの持場を守つて、船は航海しつづける。この船は、より一層、県民の生活文化の向上、明日の幸福を求めて進んで行く。目的の島に名づけるならば「幸福島」といつてもよい。この航海は、何時はてることもなく続けられるのである。だが今までにこの船は、思わぬ暴風雨に出会つた事もあつたろう。しかしそのつど、乗組員の協力によつて、うまく舵を取られて、今日のような、気持のよい航海が続けられている。来年度の県財政は例年になく苦しいということだが、乗組員一同の協力でうまくきりぬけていくことだろう。

今までは、肥後丸も近海航路だつたかもしれぬが、これからは、大洋への航海である。この大洋を航海するためには、たくさんの燃料が必要だ。そのための燃料補給が、即ち税金を納める事だと思う。

航海をつづけるためには、決して燃料をかかしてはならない。私も成人して、この船の乗組員として取り扱われ、自分の持場が与えられたら、即ち税金を納めるようになつたら、どんなに苦しい事があつても、なさねばならぬことは、必ず果たし、そして、主張すべき権利は、堂々と、だが女らしい慎ましさを失わずに、主張し得る母のような人間になろうと思う。

おわり

陳情投書

総務部

課名	月	陳情内容	陳情者名
人事課	12	給与改訂等について	玉名郡横島中学校、宇土高等学校長他
財政課	〃	宇土高校プール建設について	耕地第一課　国武範行他
人事課	〃	給与改訂について	本渡市長他
財政課	〃	天草高校女子寮の移転について	熊本県私立高等学校長
文書文教課	〃	熊本県私立高校に対する助成について	熊本県私立高等(中)学校協会理事長
財政課	〃	一町田農業高等学校学級増加について	河浦町長
人事課	〃	熊本県人事委員会勧告の完全実施等について	熊本県教師会会長
財政課	〃	県職業訓練所の設置について	県職業訓練所誘致促進期成会会長
広報課	〃	熊本県有線放送協議会に対する義務教育教職員等の定員配当引き上げ並びに国庫負担について	熊本県有線放送協議会会長
財政課	〃		水俣市議会議長
税務課	〃	幼稚園関係児童免税措置について	熊本県私立幼稚園協会理事
文書文教課	〃	公私立大学学生部課長に対する管理職手当の支給について	九州地区大学厚生補導協議会会長
財政課	1	県立高校授業料値上げについて	熊本県公立高校ＰＴＡ連合会会長
税務課	〃	県税徴収交付金等について	熊本県市長会長
財政課	〃	県立玉名高校校舎改築について	玉名高校校舎改築期成会会長
〃	〃	県立熊本高校校地購入について	県立熊本高校江原会会長
〃	〃	網津小学校屋体兼講堂建設について	網津小学校屋体兼講堂建設期成会会長
〃	〃	熊本県農高城南分室の施設設備充実について	城南町長

企画部

課名	月	陳情内容	陳情者名
第一課	12	九州地方開発について	第十三回九州経済同友会会

民生労働部

課名	月	陳情内容	陳情者名
社会課	12	昭和四十年度熊本女子大学開放老人講座の実施に伴う援助方について	熊本女子大学同窓会会長
国民年金課	1	老令年金の支給について	下益城郡中央村管野、楠本又女

衛生部

課名	月	陳情内容	陳情者名
医務課	1	母子健康センターの設立について	植木町長
〃	〃	育成医療制度の確立について	河内芳野村　平川正子
環境衛生課	〃	温泉開発審議会委員の任命について	田底村　渡辺徹文

商工水産部

課名	月	陳情内容	陳情者名
商政課	12	店舗集団計画に伴う資金融通について	牛深市、丸共株式会社社長
水産課	〃	水族館建設誘致について	五和町長
工鉱課	〃	熊本県プロパンガス協会について	全国ＬＰガス協会連合会会長

農政部

課名	月	陳情内容	陳情者名
耕地第一課	12	土地改良事業の推進について	熊本県土地改良事業団体連合会長
〃	〃	土地改良事業の採択基準等について	〃
果樹特産課	〃	葉たばこ再乾工場の新設について	熊本県葉たばこ耕作組合連合会長
農地開拓課	〃	一町田内地区の電灯施設改修工事について	河浦町農業協同組合組合長
果樹特産課	〃	熊本県特産そ菜振興対策措置について	熊本県特産そ菜振興対策協議会会長